

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（2016年5月11日設定）
運用方針	投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	①株式への直接投資は行いません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

運用報告書(全体版)

新ホリコ・フォーカス・ファンド 〈愛称：新自由の女神〉

第3期

決算日：2019年3月15日

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いましたので、当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<http://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

本資料(運用報告書(全体版))の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

■本資料の表記に関する注記

- ・金額等の数値は単位未満切捨または四捨五入により表示しております。このため、各項目の合計の値が合計欄と一致しないことがあります。
- ・－印は、組入・売買が無いことを示します。

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	親 投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率			
(設 定 日) 2016年 5月11日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 26
1期(2017年 3月15日)	12,733	0	27.3	93.4	0.3	397
2期(2018年 3月15日)	14,610	0	14.7	94.9	0.2	664
3期(2019年 3月15日)	15,231	0	4.3	95.1	0.1	932

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注3) 設定日の基準価額には当初設定価額を、純資産総額には当初設定元本を用いています。

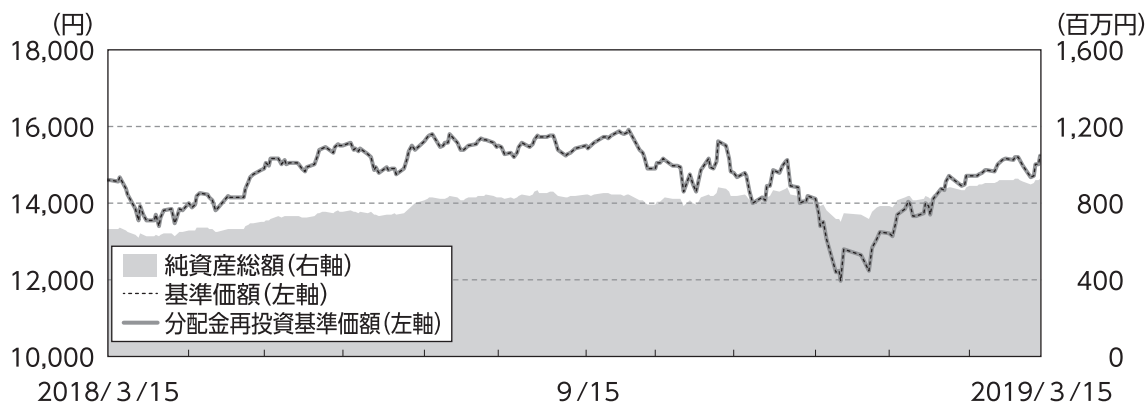
当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	親 投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率			
(期 首) 2018年 3月15日	円 14,610	% —	% 94.9	% 0.2
3月末	13,546	△7.3	94.2	0.2
4月末	13,842	△5.3	95.6	0.2
5月末	14,828	1.5	95.2	0.1
6月末	14,802	1.3	95.5	0.1
7月末	15,400	5.4	95.7	0.1
8月末	15,749	7.8	95.9	0.1
9月末	15,766	7.9	96.8	0.1
10月末	14,309	△2.1	95.4	0.1
11月末	14,883	1.9	95.0	0.1
12月末	12,796	△12.4	95.4	0.1
2019年 1月末	13,701	△6.2	96.7	0.1
2月末	15,119	3.5	95.4	0.1
(期 末) 2019年 3月15日	15,231	4.3	95.1	0.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

当期中の運用経過と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



期 首：14,610円

期 末：15,231円(既払分配金0円)

騰落率：4.3%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは米ドル建ての外国投資信託である「HCフォーカス・ファンド・クラスA」(以下、「HCフォーカス・ファンド」)を主要投資対象とするため、当該外国投資信託の基準価額および米ドル/円相場の動向が基準価額の主な変動要因となります。

当期のHCフォーカス・ファンドは、経済および金利水準の正常化や減税の恩恵をより享受すべくテクノロジー銘柄への投資割合を高くした投資戦略により、上昇局面、下落局面ともに変動の大きい形となりましたが、前期末比では小幅な変化にとどまりました。

米ドル/円相場では前期末比で円安が進み、基準価額の上昇要因となりました。

■投資環境

●米国株式市場

米国株式市場は、税制改革による企業業績の押し上げ期待を背景にハイテク大型株を中心に2018年9月まで概ね堅調推移となりました。しかし同年10月以降は中間選挙や対中貿易摩擦の先行きに対する不透明感が強まり下落に転じました。貿易摩擦の影響から中国経済の減速が鮮明になると、年末にかけては大きく売られる展開となったほか、一部の年限で長短金利差(イールドカーブ)が逆転したことから、近く景気後退(リセッション)に入るとの見方も広がりました。しかし、2019年に入ると行き過ぎた悲観論が修正されるとともに、株価も反発する展開となりました。

●為替市場

米ドル/円相場

米ドル/円相場は期初から2018年11月にかけては、好調な経済指標や企業業績を背景に米国で利上げが継続されるなか、日米の金利差拡大が意識されやすい環境が続いたことから、米ドル高/円安基調での推移が続きしました。しかし、年末にかけて米国の株式市場が調整するとともに米長期金利の低下が進むと、段階的に円買い圧力が高まり、年初まで円高が進みました。2019年1月上旬以降は、米国株式市場が大きく反発するなか、リスク回避姿勢の緩和とともに再び円安基調で推移しました。

●国内短期金融市況

日本銀行による「量的・質的金融緩和」が継続するなか、当期も日本の短期金利は低位で推移しました。短期金利の代表的な指標の一つである国庫短期証券(3ヵ月物)金利は、期初の $\Delta 0.16\%$ 近辺から期を通じてマイナス水準で推移し、 $\Delta 0.15\%$ 近辺で期末を迎えました。

■当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、主要投資対象である外国投資信託(HCフォーカス・ファンド)のパフォーマンスを享受すべく、当該外国投資信託の組入比率を高位に維持する運用を行いました。また、投資信託財産の一部を、親投資信託である「楽天・国内マネー・マザーファンド」に投資しました。

HCフォーカス・ファンド・クラスA

当期のHCフォーカス・ファンドは引き続き企業価値の観点から割安感の強かったハイテク株や金融株を中心としたポートフォリオでの運用を行いました。2018年8月には急速な株式相場の上昇ペースと過熱感への懸念から、S&P500指数のプットオプションを組み入れ、現金比率を高めると共に米国債を購入する調整を行いました。しかし、その後の相場下落に合わせ10月下旬に利益確定を実施した為、その後年末にかけては下落を余儀なくされました。下落局面を経ても、ハイテクや金融を中心としたポートフォリオを維持し、年末にかけての株価下落により割安さが一段と際立つ状況になった銘柄については2019年に入って買い増し運用を行いました。

楽天・国内マネー・マザーファンド

主に、国庫短期証券や高格付CPを対象にした現先取引による運用を行いました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

●分配原資の内訳

(1万口当たり・税込)

項 目	第3期	
	2018年3月16日～2019年3月15日	
当期分配金 (円)	—	
(対基準価額比率) (%)	(—)	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	5,230	

(注1) 「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンド

引き続き、HCフォーカス・ファンドと楽天・国内マネー・マザーファンドを投資対象とし、HCフォーカス・ファンドへの投資割合を高位に維持することを目指します。

HCフォーカス・ファンド・クラスA

HCフォーカス・ファンドは、徹底したリサーチと中長期的な観点から割安株を厳選し、比較的少数の銘柄に集中投資を行います。具体的には、短期的な需給、信用市場の不透明感、一時的な業績不振などにより株価が割安な水準での取引となっているものの中から、中長期的には競争力があり、高い成長性が期待できる会社を抽出し集中投資する方針としております。

米国株式は2019年3月現在、昨年12月の安値から20%近い上昇となっています。急速な上昇ペースを考えると、過去最高値水準が目前に迫っていることもあり、当面は調整色の強い相場も予想されますが、あくまで一時的な調整であり、10年を経過した長期的な強気相場の転換や、本質的に米国の景気腰折れを示唆するものではないと見ています。通商政策など不透明要因は残るものの、時間の調整が終われば、再び高値を目指す展開を予想しており、引き続き中長期的な株式への投資には理想的な環境と考えております。当ファンドはそのような機会を生かすと共に、引き続き経済および金利水準の正常化や減税の恩恵を受けられると見られる銘柄への集中投資を進めていく方針です。但し割安株が本来の価値で評価されるようになるまでにはある程度の時間が必要です。投資家の皆様におかれましては中長期の視点から見守っていただければ幸いです。

楽天・国内マネー・マザーファンド

資産の保全と流動性に留意しながら、国庫短期証券や高格付CPを対象にした現先取引、コールローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を目指します。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2018年3月16日～2019年3月15日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	160円	1.099%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は14,562円です。
(投信会社)	(94)	(0.646)	・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(58)	(0.398)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(8)	(0.055)	・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	28	0.192	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(12)	(0.082)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(3)	(0.021)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(13)	(0.089)	・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料等
合 計	188	1.291	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

売買および取引の状況

■投資信託証券

			当 期			
			買 付		売 付	
			単位数又は口数	金 額	単位数又は口数	金 額
外国	ケイマン諸島	HCフォーカス・ファンド・クラスA	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			1,264,742.8	1,900	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

組入資産の明細

■ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	単位数又は口数	当 期 末		比 率
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千米ドル	千円	%
HCフォーカス・ファンド・クラスA	5,038,1723	7,924	887,060	95.1
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	5,038,1723	— 887,060	— <95.1%>
	1	—	—	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■親投資信託残高

	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
楽天・国内マネー・マザーファンド	996	996	998

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 親投資信託の当期末現在の受益権口数は、2,069,475千口です。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 証 券	887,060	93.9
楽 天 ・ 国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ェ ン ド	998	0.1
短 期 金 融 資 産 、 そ の 他	56,638	6.0
投 資 信 託 財 産 総 額	944,696	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=111.94円です。

(注3) 当期末における外貨建資産(887,066千円)の投資信託財産総額(944,696千円)に対する比率は、93.9%です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年3月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	944,696,969円
コール・ローン等	56,638,805
楽天・国内マネー・マザーファンド	998,106
投資信託受益証券	887,060,058
(B) 負 債	12,281,203
未払解約金	7,330,462
未払信託報酬	4,562,208
その他未払費用	388,533
(C) 純資産総額(A-B)	932,415,766
元 本	612,192,465
次期繰越損益金	320,223,301
(D) 受益権総口数	612,192,465口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,231円

(注) 期首元本額 455,055,151円
 期中追加設定元本額 212,404,315円
 期中一部解約元本額 55,267,001円

■損益の状況

(自2018年3月16日 至2019年3月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△37,854円
支 払 利 息	△37,854
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	43,716,531
売 買 益	44,798,338
売 買 損	△1,081,807
(C) 信 託 報 酬 等	△10,229,978
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	33,448,699
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	103,318,622
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	183,455,980
(配 当 等 相 当 額)	(116,386,567)
(売 買 損 益 相 当 額)	(67,069,413)
(G) 合 計 (D+E+F)	320,223,301
(H) 収 益 分 配 金	—
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	320,223,301
追 加 信 託 差 損 益 金	183,455,980
(配 当 等 相 当 額)	(116,386,564)
(売 買 損 益 相 当 額)	(67,069,416)
分 配 準 備 積 立 金	136,805,913
繰 越 損 益 金	△38,592

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

項 目	当 期
(A) 配当等収益額 (費用控除後)	—円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	33,465,148円
(C) 収益調整金額	183,417,388円
(D) 分配準備積立金額	103,340,765円
(E) 分配対象収益額 (A+B+C+D)	320,223,301円
(F) 期末残存口数	612,192,465口
(G) 収益分配対象額 (1万口当たり) (E/F×10,000)	5,230.76円
(H) 分配金額 (1万口当たり)	—円
(I) 収益分配金金額 (F×H/10,000)	—円

お知らせ

該当事項はありません。

■組入ファンドの概要

以下は、『新ホリコ・フォーカス・ファンド』が組み入れている投資信託証券(ファンド)の状況として、当期末において入手できる直近の情報を掲げております。

ファンド名	運用会社又は投資顧問会社	決算日
HCフォーカス・ファンド・クラスA	ホリコ・キャピタル・マネジメント・ エル・エル・シー	2018年12月31日
楽天・国内マネー・マザーファンド	楽天投信投資顧問株式会社	2018年6月15日

1. HCフォーカス・ファンド・クラスA

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン籍／外国投資信託／米ドル建
運用目的および主な運用方針	<ul style="list-style-type: none"> - 比較的少数の上場株式への投資を通じて、リスク調整後ベースで長期的な資産の成長を目指します。 - ファンダメンタル・リサーチをもとに本来的に持つ価値から大きく乖離していると考えられる（割安と判断される）対象を厳選し、ポートフォリオを構築します。 - 米国株式を主な投資対象としますが、上場デリバティブや米国以外の外国株式への投資、および空売りを行うことがあります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> - 上場商品および米国債を投資対象とします。ETFやMMFを含む投資信託証券への投資は行いません。 - 純資産総額の10%を超える借り入れおよび空売りは行いません。 - 単一の発行体に対する買い持ちに相当するエクスポージャーは、株式およびデリバティブにおいて、それぞれ純資産総額の10%を超えないものとします。 - 取引の相手方に対するエクスポージャーは、同一の相手先について純資産総額の10%を超えないものとします。
分配方針	原則として分配は行いません。
申込手数料	ありません。
運用報酬等	<p>運用報酬：純資産総額に対して年0.8%</p> <p>成功報酬：超過収益の20%（成功報酬が確定し、支払われた直近の水準をハイウォーターマークとし、成功報酬以外の各種費用控除後の投資収益がハイウォーターマークを上回った場合その超過分の20%を成功報酬として認識します。ハイウォーターマークは追加設定・一部解約のつど調整されます。成功報酬は日々計算され増減し、四半期毎に確定金額が支払われます。）</p> <p>受託会社報酬：年間20,000米ドル</p> <p>管理事務代行会社報酬：純資産総額に対して年0.09%（ただし月額最低3,000米ドル）</p> <p>その他費用：組入有価証券の売買時の売買委託手数料、資産の保管やクリアリングなどに要する費用、借入金の利息、投資信託財産に関する租税、監査法人への報酬、弁護士費用、法定書類等の作成・印刷・交付にかかる費用、その他日常的な運営費用等</p>
信託財産留保額	ありません。
受託会社	メイブルズ・トラスティ・サービシズ（ケイマン）リミテッド
投資顧問会社	ホリコ・キャピタル・マネジメント・エル・エル・シー
管理事務代行会社	カスタム・ハウス・グローバル・ファンド・サービシズ・リミテッド

1. HCフォーカス・ファンド・クラスA

■ 損益計算書

(2018年12月31日に終了する計算期間)

HC Focus Fund (A Unit Trust)

Statements of operations

For the years ended December 31, 2018

	2018
Investment income	
Dividends (net of foreign withholding taxes of \$126,161 for 2018)	\$ 384,699
Interest and other income	34,693
Total investment income	<u>419,392</u>
Operating expenses	
Incentive fees	1,523,487
Management fees	904,551
Administration fees	57,025
Professional fees	33,376
Audit fees	28,758
Trustee fees	21,782
Other expenses	12,432
Total operating expenses	<u>2,581,411</u>
Net investment loss	<u>(2,162,019)</u>
Realized and unrealized (loss)/gain on investments and foreign currency	
Net realized gain on sale of investments	10,718,209
Realized gain on cash equivalents	36,002
Change in unrealized (loss)/gain on investments	(15,551,136)
Change in unrealized gain/(loss) on translation of assets and liabilities in foreign currencies	14
Change in unrealized gain on cash equivalents	10,408
Net realized and unrealized (loss)/gain on investments and foreign currency	<u>(4,786,503)</u>
Net change in net assets resulting from operations	\$ <u><u>(6,948,522)</u></u>

HC Focus Fund (A Unit Trust)

Schedule of investments

At December 31, 2018

Investments (88.1% of net assets)	Shares	Cost	Fair Value
Common Stock (69.6% of net assets)			
United States (69.6%)			
Communications (8.7%)			
Altice USA, Inc. (5.2%)	190,460	\$ 3,360,824	\$ 3,146,399
Other (3.5%)		2,422,530	2,113,612
Consumer, Discretionary (16.1%)			
Amazon.com, Inc. (6.8%)	2,743	2,528,376	4,119,904
United Continental Holdings, Inc. (5.5%)	39,376	2,936,184	3,296,952
Other (3.8%)		2,926,000	2,274,576
Energy (3.7%)		1,775,844	2,228,959
Financial (14.8%)			
Bank of America, Corp. (6.3%)	154,692	4,364,288	3,811,611
Citigroup, Inc. (5.9%)	68,275	3,671,231	3,554,397
Other (2.6%)		2,718,925	1,571,396
Health Care (7.6%)		5,855,118	4,571,410
Technology (18.7%)			
Microsoft, Corp. (8.8%)	52,488	4,466,383	5,331,206
Apple, Inc (6.1%)	23,351	3,397,648	3,683,387
Other (3.8%)		1,530,199	2,353,954
Total United States		41,953,550	42,057,763
Total Common Stock		41,953,550	42,057,763
Fund investments (3.8% of net assets)			
United States (3.8%)			
Financial (3.8%)		2,673,424	2,303,347
Total Fund Investments		2,673,424	2,303,347
Options (12.8% of net assets)			
Call Options (12.8%)			
United States (12.8%)			
Communications (4.0%)		4,063,940	2,425,600
Financial (0.8%)		1,798,318	512,453
Technology (8.0%)		4,170,990	4,831,845
Total United States		10,033,248	7,769,898
Total Options		\$ 10,033,248	\$ 7,769,898

**HC Focus Fund
(A Unit Trust)**

Schedule of investments (continued)

At December 31, 2018

Investments (88.1% of net assets) (continued)	Cost	Fair Value
Warrants (1.9% of net assets)		
United States (1.9%)		
Consumer Goods (1.9%)	\$ <u>1,113,764</u>	\$ <u>1,141,276</u>
Total Warrants	<u>1,113,764</u>	<u>1,141,276</u>
Total Investments	\$ <u>55,773,986</u>	\$ <u>53,272,284</u>

楽天・国内マネー・マザーファンド

第8期(2018年6月15日)

《運用報告書》

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限(2010年6月25日設定)
運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

当マザーファンドはこのたび上記決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

東京都世田谷区玉川一丁目14番1号

URL : <http://www.rakuten-toushin.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率	その他 有価証券 組入比率	純資産総額
	円	騰落率				
4期(2014年 6月16日)	10,028	0.1	98.2	—	—	1,120
5期(2015年 6月15日)	10,029	0.0	96.7	—	—	3,101
6期(2016年 6月15日)	10,030	0.0	47.9	—	47.8	1,254
7期(2017年 6月15日)	10,025	0.0	48.7	—	48.7	2,053
8期(2018年 6月15日)	10,018	△0.1	—	—	32.2	3,102

(注1) 債券先物組入比率=買建比率-売建比率

(注2) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期中の基準価額の推移

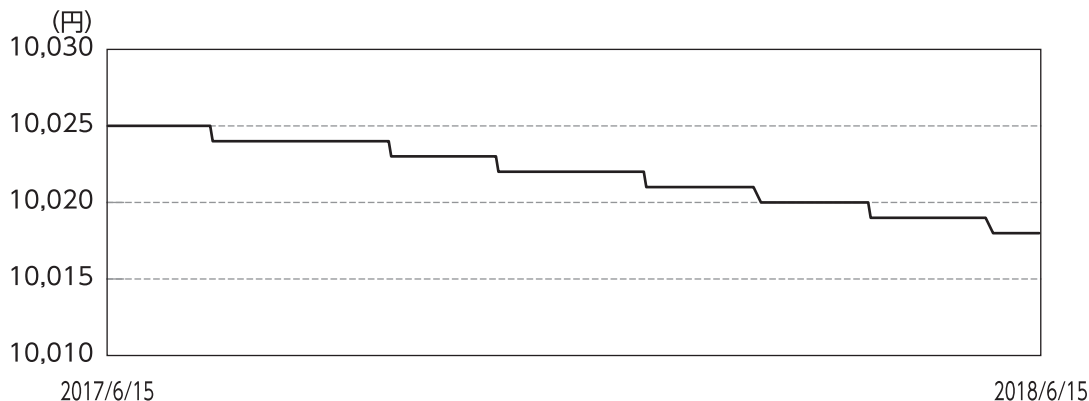
年月日	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率	その他有価証券 組入比率
	円	騰落率			
(期首) 2017年 6月15日	10,025	—	48.7	—	48.7
6月末	10,025	0.0	—	—	48.7
7月末	10,024	0.0	48.8	—	48.7
8月末	10,024	0.0	48.7	—	48.7
9月末	10,024	0.0	—	—	48.7
10月末	10,023	0.0	—	—	30.0
11月末	10,022	0.0	40.3	—	40.2
12月末	10,022	0.0	37.8	—	37.8
2018年 1月末	10,021	0.0	43.0	—	42.9
2月末	10,020	0.0	—	—	24.1
3月末	10,020	0.0	—	—	28.5
4月末	10,019	△0.1	42.9	—	21.4
5月末	10,018	△0.1	—	—	40.4
(期末) 2018年 6月15日	10,018	△0.1	—	—	32.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 債券先物組入比率=買建比率-売建比率

当期中の運用経過と今後の運用方針

■ 基準価額の推移

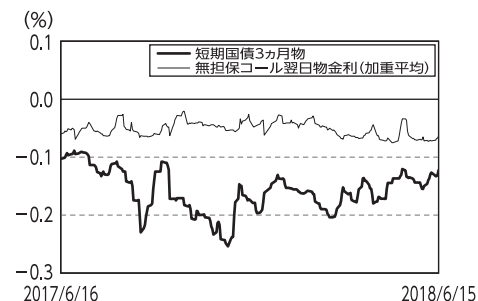


■ 基準価額の変動要因

主な投資対象である国庫短期証券や高格付コマーシャル・ペーパーの利回りがマイナスあるいはゼロ近辺で推移したため、基準価額は緩やかなペースで下落しました。

■ 投資環境

当期は、日本銀行による「量的・質的金融緩和」が継続するなか、日本の短期金利は引き続き低位で推移しました。短期金利の代表的な指標の一つである国庫短期証券(3ヵ月物)金利は期を通じてマイナス圏で推移し、特に各四半期末に向けた担保需要の高まりとともに海外勢の買い圧力が強まった局面や、2018年5月からの決済期間短縮化を前にした在庫確保の動きが高まった4月中旬などは、マイナス幅が拡大しました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

■ 当ファンドのポートフォリオ

主に、コールローン、国庫短期証券および高格付コマーシャル・ペーパーを対象にした現先取引による運用を行いました。

■ 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■ 今後の運用方針

資産の保全と流動性に留意しながら、国庫短期証券や高格付コマーシャル・ペーパーを対象にした現先取引、コール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を目指します。

2. 楽天・国内マネー・マザーファンド

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (公社債)	－円 (－)	－％ (－)
(現先)	(－)	(－)
(b) その他費用 (保管費用)	0 (－)	0.000 (－)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は10,022円です。

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、費用項目については5ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照下さい。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

■ 公社債

		当 期	
		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	国 債 証 券	212,147,806	213,147,065 (－)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ その他有価証券

		当 期	
		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	コマーシャル・ペーパー	217,999,918	217,999,920 (－)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

利害関係人※との取引状況等

該当事項はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

2. 楽天・国内マネー・マザーファンド

組入資産の明細

■国内(邦貨建) 其他有価証券

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ マ ー シ ャ ル ・ ペ ー パ ー	999,999	32.2
合 計	999,999	32.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
現 先	999,999	30.6
短 期 金 融 資 産 、 そ の 他	2,270,499	69.4
投 資 信 託 財 産 総 額	3,270,498	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,270,498,741円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,270,499,114
現 先	999,999,627
(B) 負 債	168,275,471
未 払 解 約 金	168,270,000
そ の 他 未 払 費 用	5,471
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,102,223,270
元 本	3,096,622,996
次 期 繰 越 損 益 金	5,600,274
(D) 受 益 権 総 口 数	3,096,622,996口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,018円

(注1) 期首元本額 2,048,662,778円
 期中追加設定元本額 18,766,224,952円
 期中一部解約元本額 17,718,264,734円

(注2) 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額

楽天ブルーベア・マネーブルー 3,092,135,907円
 楽天USリート・トリプルエンジン・プラス(リアル) 毎月分配型 2,492,274円
 新ホリコ・フォーカス・ファンド 996,910円
 楽天グローバル・プレミア・ファンド(ロボット自動運用型) 997,905円

■損益の状況

(自2017年6月16日 至2018年6月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△1,564,572円
受 取 利 息	1,921
支 払 利 息	△1,566,493
(B) そ の 他 費 用	△40,329
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△1,604,901
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	5,135,393
(E) 解 約 差 損 益 金	△36,695,266
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	38,765,048
(G) 合 計 (C + D + E + F)	5,600,274
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	5,600,274

(注1) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

お知らせ

該当事項はありません。